

(要領様式第5号)

研修カリキュラム

| | |
|------|-----------------------|
| 年度 | 令和3年度 神奈川県保育エキスパート等研修 |
| 分野 | 幼児教育 |
| 実施機関 | 一般社団法人保育のデザインアドバンス |

| 研修名 | 講師名 | 内容 | 研修形態 | 時間 | 総時間数 | 開催日程 | 会場 | 定員 |
|--|------------------------------------|---|-------------------|------|-------------|----------------------------------|--------------------------|------|
| 1 幼児教育の意義 | 白梅学園大学 名誉教授 無藤 隆 | 日本の幼児教育・保育のこれから ・要領、指針の考え方を捉える ・子どもの姿ベースで考える ・幼児教育と小学校教育の接続 | 講義(eラーニング)+報告書 | 88分 | 15時間 14分 | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 2 幼児の発達に応じた保育内容1(幼児教育の基本) | 株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子 | ・「主体的・対話的で深い学び」どのよう にして育むのか ・環境を通して行う保育 | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 58分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 3 幼児の発達に応じた保育内容2(発達をふまえた保育(3～5歳)) | 株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子 | ・3歳以上児の保育 ・幼児期の終わりに育ってほしい姿 | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 62分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 4 幼児の発達に応じた保育内容3(幼児の世界-豊かな遊びの展開) | 秋章学園短期大学 准教授 利根川 彰博 | ・保育者の「幼児イメージ」と子どもの遊び ・子どもの主体的な遊びと「危険」の捉え方 ・「見立て遊び」と「〇〇みたい」に見え ちゃら不思議 ・「ままごと遊びセット」と「見立て遊び」 ・幼児の想像力と遊び | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 176分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 5 幼児教育の環境(子どもの「やりた い！」が発揮される環 境(3～5歳)) | お茶の水女子大学 特任教授 宮里 暁美 | ・子どもとは何か？ ・子どもが育つ幼児期の教育の在り方 ・各年齢の保育のポイント ・保育者の役割は？ ・子どもが育つ保育環境とは？ | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 147分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 6 幼児教育の指導計画、記録及び評価1(子どもの姿に基づいた指導計画(3～5歳)) | 神戸大学大学院 准教授 北野 幸子 | ・指針・要領を踏まえた計画 ・子どもの人権の視点から考える指導計画 ・子どもの姿から考える指導計画 ・子どもの姿を振り返り、計画につな げる保育の流れ ・子どもの姿に基づいた指導計画の 活用とこれからの幼児教育 | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 156分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 7 小学校との接続(幼保小連携と接続) | 千葉大学 教授 松寄 洋子 | ・保幼小連携・接続の意義と現状 ・幼稚園教育要領・小学校学習指導 要領等と保幼小連携・接続 ・保幼小の交流 ・就学前のカリキュラムとスタートカリ キュラム ・保育・幼児教育の評価と保護者との 連携 | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 153分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |
| 8 幼児教育の指導計画、記録及び評価2(計画・実践・振り返りの実際) | 株式会社 保育のデザイン研究所 研究員 川辺 尚子 | ・実践の中で子どもを観る ・実践を振り返り、記録する ・実践記録を基に計画を立てる | 講義+演習(eラーニング)+報告書 | 74分 | | 令和3年 8月2日(月) ～ 11月30(火) | パソコン スマートフォン タブレット | 400人 |

※ 保育士等キャリアアップ研修の修了証の交付を受けるためには、1～8すべての研修を受講する必要があります。